

広域行政一元化で、いったい何をやるの!?

☑ コロナで自治体財政は逼迫!コロナより「大型開発投資」!

コロナ禍で自治体財政は逼迫しています。大阪府は来年度税収が1410億円減収で750億円の収支不足、大阪市は500億円減収で637億円の収支不足と発表しました。大型インフラ整備や巨額の経費がかかる万博会場を見直し、人命第一・コロナ対策に財源をまわすべきです。

☑ 大型開発だけで大阪市の負担額3001億円、市民一人あたり11.1万円!?

夢洲エリアの開発費・会場建設費・運営費などの2025年大阪万博関連事業、万博へのアクセスを支える阪神高速淀川左岸線工事、JRなにわ筋線工事など、現在予定されている多くの大型開発には莫大な経費が必要です。大阪府にはその財源を捻出する余裕がないため、広域財政の一元化という形で大阪市の潤沢な財源を府に移管したいと考えています。

広域行政一元化に関連する事業費の例

2025年大阪万博 …… 総額3076億円 **大阪市 負担分 778 億円**

夢洲開発 …… インフラ整備・約1000億円(うち大阪市負担478億円)

会場建設費 …… 1250億円→1600億円超(うち大阪市負担250億円!?)

運営費 …… 809億円(1日当たりUSJの4倍の入場者を集客できなければ赤字)

阪神高速
淀川左岸線2期 …… 大阪市 負担分 **498 + 315 = 813 億円**

※万博会場夢洲がアクセス不足のため、シャトルバスの専用道として前倒し

先日、現在工事中の市内部分の建設費1162億円が700億円(大阪市負担分315億円)膨らむと発表された。合計総額は1862億円に!?

JRなにわ筋線 …… 総額3300億円 **大阪市 負担分 590 億円**

うめきた2期
基礎整備費 …… 総額1270億円 **大阪市 負担分 320 億円**

府立大・市立大統合
新キャンパス事業費 …… 総額1000億円 **大阪市 負担分 500 億円**

このほか、将来的にはリニア新幹線延伸などの事業も予定されています。

大阪市のコロナ対策、本当に大丈夫!?

☑ 保健所は増やす予定なし!?

2020年11月3日、「大阪都構想」の住民投票否決を受け、私井市長は会議後、4特別区ごとに設置する計画だった保健所について「今のところ白紙」としました。福岡市には保健所が7つあります。大阪市のままでも、保健所を増設することは可能です。

「総合区で合区」や「広域行政一元化」より、**まずやるべきはコロナ対策では?**

☑ コロナと闘う大阪市職員の嘆き

「コロナ対応で保健所・区役所は、土日返上、夜中1時まで働いても、通常業務を放置しても、回らない。体力の限界だ。圧倒的に質・量ともに保健師・事務職の正規職員が足りない。維新政治で、危機管理を担えないほど脆弱化した保健所機能では、コロナ対策は回らない。無策すぎる…。」



大阪市の税金の使いかたから見る「コロナ対応」

PCR検査体制の強化 …… 計 **5,750 万円** ← **神戸市のわずか 1/18**

神戸市の場合 …… 約 **10.4 億円**

その内訳は…

大阪健康安全基盤研究所に
おける検査体制の強化
(リアルタイムPCRなどの検査機器の追加購入や検査補助等を行う職員の臨時雇用など、検査体制の強化を支援)

令和2年度 5月補正予算 **2,200 万円**

PCR検査体制の強化 …… 令和2年度 9月補正予算 **3,550 万円**
(国・府含めて約6,500万円)

参 考

「大阪の人・関西の人いらっしやい!」キャンペーン …… 約 **3 億円**

コロナ後の都構想関連費用 …… 令和2年度 8月補正予算 **約 10.7 億円**
(住民投票執行経費8.1億円、広報費2.6億円)

出典:大阪府HP「予算・予算編成過程」

このチラシに関するお問い合わせ先



大阪市民交流会
OSAKA CIVIC FRIENDSHIP MEETING

✉ info@osaka-onecity.com

